



第32回小出記念日本語教育学会

日時：2023年6月24日（土）オンライン開催

参加費：会員 無料 非会員 2,000円 申込締切：6月16日（金） 定員：400名

事前申込登録：会員の方はMLをご参照ください。 非会員の方は以下よりお申込みください。 koide32th230624.peatix.com

◆ ◆ ◆ 講演（10:30～12:20） ◆ ◆ ◆

「登録日本語教員」の制度と日本語教育分野への影響

【講師】伊東祐郎氏

国際教養大学 専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 日本語教育実践領域 特任教授

【要旨】日本語教育の質の維持向上を図るための制度が大きく変わろうとしている。ひとつには、日本語教育機関の適格性を認定する動きである。もうひとつは、認定日本語教育機関において日本語教育を指導する教員資格の整備である。後者の場合は、日本語教師の専門性としての資質・能力を確保し、証明するための仕組みが必要となる。どのような観点から制度が設計されるのが望ましいのだろうか。文化庁の有識者会議の報告書を基に、現状を踏まえながら、日本語教師の国家資格の在り方についての考察を試みたい。

◆ ◆ ◆ お昼休憩（10:20～13:20） ◆ ◆ ◆

【口頭発表第1会場】 13:20～14:50

授業と併用する自習用文型解説動画の使用実態

－学習履歴とアンケート調査の分析を通して－

谷津裕子（東京国際大学）大住あかり（東京国際大学）

久保亜希（防衛大学校）齊藤知花（東京国際大学）

就職活動用日本語自己PR文の内容分析

－外国人留学生と日本人学生の比較から－

土屋陽子（常葉大学）

初年次学生による小論文の構造分析考察

杉本あゆみ（金沢学院短期大学）

【口頭発表第1会場】 15:00～16:30

現代日本語の嗅覚名詞「匂い」「香り」に対する中韓学習者の理解

－触覚修飾の場合－

鈴木梓（福井大学）

知識構成型ジグソー法を用いた同期型双方向授業「日本語漢字」の試み

井口祐子（ハンシン大学）

ロシア語母語話者における朗読時の日本語アクセント産出の特徴

松尾恵理沙（東京国際大学）

【口頭発表第2会場】 13:20～14:50

国際児が抱える学習上の困難の背景に関する事例研究

－教科学習言語能力の発達に着目して－

飯田愛海（東洋英和女学院中学部・高等部）

日本語教育の教授・学習アプローチに起因する習得の因果関係

－中国語を母語とする日本語学習者の「てくる」の習得を例に－

周利（大阪大学大学院生）大和祐子（京都大学）

李璐（西安外国語大学）玉岡賀津雄（湖南大学・名古屋大学）

役割語を取り入れた授業活動の実践報告

－日本語レベル混合クラスにおけるアニメ・アテレコ活動－

小松満帆（立教大学）

【口頭発表第2会場】 15:00～16:30

初中級学習者との接触場面における日本人学生の発話調整行動

－「会話パートナー」活動でのやりとりから－

久保亜希（防衛大学校）柴田冴（元東京国際大学）

篠崎佳恵（東京国際大学）

日本で働く日本語非母語話者の自己表現と他者理解

－スピーチスタイルの選択を中心に－

佐々木瑛代（早稲田大学大学院生）

雑談における聞き手行動の分類

－会話参加者のうち一方が知識・経験を有する話題を対象に－

犬飼亜有美（仙台高等専門学校）

【口頭発表第3会場】 13:20～14:50

日本語教員養成課程でライティング指導を扱うことの難しさと課題

－教員を対象としたインタビューをもとに－

副田恵理子（藤女子大学）鎌田美千子（東京大学）

教師教育者の熟達化

－良い選手が良いコーチとは限らない－

坪根由香里（大阪観光大学）嶋津百代（関西大学）中谷潤子（大阪産業大学）

西村美保（清泉女子大学）門脇薫（摂南大学）

母語話者日本語教師の初任時の盲点の研究

－日本語教師経験者のインタビュー調査より－

鈴木ちひろ（フリーランス）

【口頭発表第3会場】 15:00～16:30

自己エスノグラフィーの分析を通じた教室内多読実施者の役割に関する考察

佐々木良造（静岡大学）鷹野恵（筑紫女学園大学）

地域日本語教育の支援者の意識と実践の変容プロセス

－対話活動の導入に伴う変容に着目して－

友宗朋美（筑波大学大学院生）

詳しいプログラムはウェブサイトをご参照ください。プログラムに変更があった場合もこちらでお知らせいたします。 <http://koidekinen.org/>
小出記念日本語教育学会事務局 〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2 国際基督教大学日本語教育課程 小澤研究室気付

主催：小出記念日本語教育学会

